

協同的探究学習研究会



令和5年7月14日（金）に協同的探究学習研究会を実施しました。2020年に発表された新学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学び」がこれからの学びとされています。従来の授業スタイルは、教室で先生の授業

を聞き先生に教えてもらう学びがメインでしたが、これからは先生の教えに沿って教科書に向かうだけでなく、自分で積極的に学ぶ姿勢を重視した学習を大切にすることになりました。加古川市



では、市内全学校において、「協同的探究学習」の考えに基づく授業づくりを行

い、生徒が苦手とする「わかる学力」の育成に向けた授業を工夫しています。本校では、今年度、加古川市研究推進校として「協同的探究学習」の考えに基づく授業づくりを進めており、生徒の多様な考えや発言から共通点



や相違点を見つけ、問題の本質について考え、生徒が主体的に学んでいけるようにしています。今回は、1年1組の国語科の授業で説明文「ちょっと立ち止まって」を教材に公開授業を行いました。ご指導いただく藤村宣之教授



も東京から直接、中学校まで指導に来られ、加古川市教育委員会の担当者の方、



加えて志方3小学校の先生方も来られて実施することができました。「筆者は、自分の主張をより分かりやすく伝えるためにどんな工夫をしていますか？」という大きな課題について、深く深く考えまし

た。みんな一生懸命に取り組み、自分の言葉で本質に迫る回答がたくさんあり、参観された多くの方がほめておられました。みなさん、本当によく頑張りました。事後の検討会でも、志方中学校の生徒は素晴らしいと藤村教授からも褒めていただきました。お疲れさまでした。



これからもさらにより学びを目指して志方中みんなで頑張っていきましょう。